

教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること

本学の目的は学則に示す通り、教育基本法及び学校教育法の定めるところに従い、高等学校教育の基礎の上に福音主義キリスト教信仰に基づいて、幼児教育に関する専門教育を授ける完成教育機関であると共に、広く教養を培いキリスト教的人格を具えた良き社会人を育成することである。また、幼児教育学科では、キリスト教精神に則り、現代社会の多様な要請に応え、個性を尊重する保育を実現する専門性の高い幼児教育者の育成を目的とし、本学の教育目的及び社会的使命を達成することを掲げている。

①幼児教育学科の教育目標

1. 建学の精神であるキリスト教と高い倫理観、職業に対する使命感に基づき、愛をもって子どもや人々に奉仕できる人材を育成する。
2. 社会人としての教養と対人関係能力に基づき地域の人々と協働し、他の学生と協力して物事を成し遂げることができる人材を育成する。
3. 保育学・教育学・福祉学の基礎知識と学問的探求方法の理解に基づき、乳幼児に関する知識と保育方法理論を理解して、変化する保育ニーズのなかで自己の保育を改善することができる人材を育成する。
4. 一人ひとりの子どもの心に寄り添い、保育を構想してクラス集団を指導し評することができる保育実践力を備えた人材を育成する。

②目標を達成するための計画

ディプロマポリシー(学位授与の方針)を鑑みて、本学では「社会人としての教養が身につく」「建学の精神を基にした職業的倫理観が身につく」「教育者・保育者として必要とされる知識が身につく」「教育者・保育者として必要とされる技術が身につく」「職業体験を通して技術・知識が身につく」、以上の5つのカテゴリーに分類され、聖書と現代人、日本国憲法、キャリア基礎などの教養基礎科目や保育者論、各保育内容、幼児理解と教育相談などの専門教育科目、その他本学独自の科目や音楽学系プログラム、国際教育系プログラムの独自の科目が配列されている。学生は2年間で各カテゴリーの科目を総合的に履修し、実習などの実践を通して、教育目標を達成するようなカリキュラム編成を行っている。